

普通科目（美術科）の学習指導案 17No18

1. 指導目標

| |
|---|
| <p>(1) 映像メディア表現（鑑賞）中から「コンピュータを使った表現」についての学習で、デジタル化された作品から表現力や創造力を学び、同時に作者の意図や構成力や技術力を理解させる。</p> <p>(2) 私たちの暮らしに必要なメディア表現の中にも、様々な知的財産があり、デザイン保護と著作権法について理解させる。</p> |
|---|

2. 指導項目・内容

| | 指導項目・内容 | 時間(分) | 指導上の留意点 |
|----|---|-------|---|
| 導入 | 本時の学習内容と目標を提示する。 | 5 | |
| 展開 | 「コンピュータを使った表現」 ・どのような作品があるか、鑑賞する教科書の掲載作品 その他のコンピュータ作品 | 10 | ・作品を鑑賞して、興味関心を高めながら、生徒に感想や批評を問いかける。 |
| | ・デジタル化されたコンピュータ作品の特徴とインターネットやHPでの活用について | 10 | ・デジタル化された違法コピー作品についてどのようにすべきか各自に考えさせて、グループ等で検討、発表させる。 |
| | ・デザイン保護と著作権法について ・著作権法によりデザインの侵害が争われた事例等の紹介 | 10 | ・意匠権と著作権の比較についても理解させる。(意匠権の登録は特許庁に登録するが、著作物は不要。文化庁に登録も可能) |
| 整理 | 感想文とポイントのまとめ | 15 | まとめプリントを作成しておく。 |
| 備考 | 高校美術 I（日本文京出版）p56～57「映像メディア表現」 意匠編（標準テキスト）p40～47 | | |